

<グランドデザイン 説明>

現在、私たちを取り巻く社会は、変化が激しく予測が困難な「大海原」のような状況にあります。このような時代において、子供たちが力強く生きていくためには、従来のような知識の習得だけでなく、「自ら考え、周囲と協力して道を切り拓く力」が不可欠です。水戸市立第四中学校では、令和8年度に向けて、お子様たちの未来を支えるための新しい教育の航海図（グランドデザイン）を作成しました。

まず、学校教育目標として、私たちが掲げる大きな目標は「主体性」と「協働性」の育成です。

「主体性」とは、誰かに言われるのを待つのではなく、自分なりに考え、判断し、自分の行動の結果に責任を持つ力です。「自ら舵を握る力」と言い換えることができます。

「協働性」とは、自分とは違う考えを持つ人も大切にし、力を合わせてより良い社会を作ろうとする力です。一人では到達できない場所へ、仲間と共に進む力です。

そして、生徒の成長を支える3つの柱（3つの風）、つまり船を押し進めるために、私たちは3つの取組を強化します。

○まなび（知）：タブレット等のICTを使いこなし、友達と意見を交わしながら、答えのない問いに立ち向かう楽しさに気付くように支援します。

○こころ（徳）：最も大切にしたいのが、最後まで諦めず「やり抜く力（GRIT）」です。その上で、挑戦する心、互いを認め合う心、そして支えてくれる人々への感謝の心を大切にします。

※Guts（ガッツ）：困難に立ち向かう度胸

Resilience（レジリエンス）：苦境にめげずに立ち直る復元力

Initiative（イニシアチブ）：自ら目標を見つけて取り組む自発性

Tenacity（テナシティ）：最後までやり遂げる執念

○からだ（体）：規則正しい生活習慣を身に付け、自らの健康と安全を自分で守れる強い体と意識を育みます。

学校として私たちが最も重視し、決して妥協しない「一丁目一番地」の約束は「学校が安心できる場所であること」です。いじめを許さず、誰もが「自分はここにいるんだ」「失敗しても大丈夫なんだ」と確信できる環境を整えます。この安心感という土台があってこそ、初めてお子様は自らの可能性を最大限に発揮し、活力を持って学ぶことができるのです。

四中には多くの生徒と、熱意ある職員たちがいます。この大きな「マンパワー」は私たちの誇りです。しかし、お子様の教育という壮大なプロジェクトを成功させるには、保護者の皆様や地域の皆様という「クルー（乗組員）」の力が欠かせません。学校、家庭、地域が手を取り合い、同じ船に乗るチームとしてお子様の成長を伴走し、支えていきましょう。お子様が自分自身の未来を、自信を持って切り拓いていけるよう、四中丸の新たな航海にぜひ共育（共に育てる）という姿勢で取り組めればと思います。

